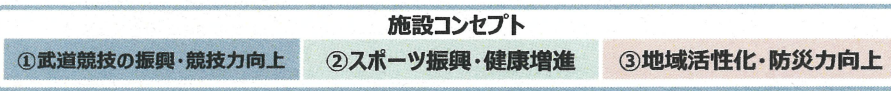


第1 計画策定の背景

- 1 県営武道館の老朽化
老朽化した施設の統廃合、武道振興の拠点施設の整備
- 2 県民スポーツの振興
県民のスポーツ振興や健康増進
- 3 北陸新幹線効果の持続・深化
今後の北陸新幹線延伸を展望し、賑わいのあるまちづくりを推進

第2 施設のコンセプト

- 「健康・スポーツ環境充実検討会」の議論を踏まえて施設コンセプトを設定
 - ①武道競技の振興・競技力向上に寄与する施設
 - ②県民のスポーツ振興・健康増進に寄与する施設
 - ③魅力あるイベントによる地域活性化、防災力の向上等に寄与する施設



施設の役割

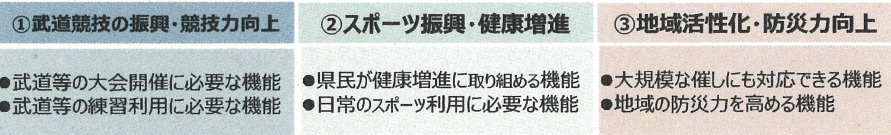
●富山県の武道の拠点となる施設 ●武道競技の公式大会が開催可能な施設 ●日常の稽古や指導者講習会、研修会で利用しやすい施設	●武道以外のスポーツ大会も開催できる施設 ●県民の日常的なスポーツ利用、冬場のスポーツの場となる施設 ●県民の健康増進に寄与する施設	●スポーツイベントや文化イベントの開催など富山県の賑わい創出に寄与する施設 ●防災備蓄倉庫や避難所を備えるなど地域の防災力を高める施設
---	--	---

●5Gなど最新技術が武道競技やスポーツ振興、地域活性化、防災力向上等に活用できる施設

第4 計画の概要（続き）

2 導入機能及び施設規模

(1) 施設機能



(2) 施設規模（延床面積14,000㎡程度）

主道場（スポーツホール） 6,000㎡程度

- 競技面（2,000㎡＝50m×40m）
（柔道6面、剣道6面、バスケットボール2面、バレーボール3面）
- 観客席（固定・可動・仮設あわせて4,000～5,000席程度）
- その他（器具庫・可動席収納庫・大会諸室・選手控室・更衣室等）

武道場 2,000㎡程度

- 競技面（畳敷き3面及び板敷き3面）
可動間仕切り設置
- その他（器具庫・更衣室等）

健康増進機能 1,000㎡程度

- トレーニング室
- ジョギングコース（ウォーキングコース）

防災機能と管理・サービス機能をあわせて 5,000㎡程度

管理・サービス機能 ●エントランス・ホワイエ・廊下・階段 ●事務室・会議室・医務室・トイレ・機械室・搬入ヤード等	防災機能 ●防災備蓄倉庫 ●避難所（主道場や観覧席を利用）
---	--

第3 施設活用のイメージ

1 武道競技の振興・競技力向上での活用イメージ



柔道大会



剣道大会



なぎなた講習会

2 スポーツ振興、健康増進での活用イメージ



バスケットボール



バレーボール



ジョギング

3 地域活性化・防災力向上での活用イメージ



スポーツ興行



音楽コンサート



避難所（段ボールベッド）

第5 施設整備にあたり考慮すべき事項

- (1) 名称について
これまでの検討委員会の議論や施設のコンセプトを踏まえ、名称をつける。また、県民に親しみやすく分かりやすい愛称についても検討する。
- (2) 駐車場の確保
富山駅から徒歩圏内であり、公共交通機関の利用を基本とする。障がい者用駐車場や送迎者用乗降者場の確保。周辺駐車場も活用し必要台数の確保を検討する。
- (3) ユニバーサルデザインへの配慮
子どもから高齢者、障がい者、全ての方が利用しやすいよう配慮する。
- (4) 多目的な利用への配慮
スポーツイベントや文化イベントなど賑わい創出に寄与する施設となるよう催事主催者が利用しやすいよう配慮する。
- (5) 最新技術の利活用への配慮
最新技術を導入できるよう施設設計上の工夫などの配慮が必要。
- (6) 県産材等の活用
県産材の活用について検討し、仮に構造材としては使用できない場合でも、内装材等に積極的に県産材等を活用することについて検討する。
- (7) 経済性への配慮
建設費や維持管理費を抑える工夫について検討する必要がある。
- (8) 既設の武道館の統廃合
現在の県営富山武道館と県営高岡武道館は県営施設としては廃止することとし、廃止後の施設の活用については、地元市をはじめ関係方面と十分協議し、適切に対処していく。
- (9) 弓道場、相撲場について
既存の県営富山弓道場及び富山県体育協会の相撲場については、必要な改修等を実施する。
- (10) 防災機能について
災害時には、近隣住民や観光客等の避難所として主道場や観覧席などを活用する観点から必要な施設整備について配慮する。

第4 計画の概要

- 1 施設候補地
- 施設整備候補地の選定基準(※)に基づき、「④民間駐車場敷地(富山市千歳町)」「⑤五福公園スポーツ広場(富山市五福)」「⑥富山操車場跡地(富山市鍋田)」「⑦高岡スポーツコア多目的広場(高岡市二塚)」の4カ所について、検討・評価した。
- 下記の理由により、「④民間駐車場敷地」が適地として選定
- 富山駅から徒歩7分で公共交通利用による利便性が高いこと
 - 近隣に民間駐車場(9カ所、計1,721台)があり、大会開催時には活用できること
 - 敷地の形状が良く土地所有者の内諾が得られていること
 - 近隣に多くの商業施設や宿泊施設があり、宿泊を伴う全国大会などの利活用が期待されるなど地域活性化効果が期待できること
 - 浸水被害等があっても防災備蓄倉庫や、近隣住民・観光客等の避難所として活用できるなど地域の防災機能の点でも評価が高いこと

施設整備候補地の位置



※施設整備候補地の選定基準

- (1) 施設利用が見込まれる立地
 - ①県民利用、②生徒・学生利用、③県外者利用、④駐車場確保
- (2) 施設整備に必要な用地の確保
 - ①敷地状況（面積）
 - ②敷地状況（形状）
 - ③法的制約条件
 - ④用地取得可能性
- (3) 地域の活性化等
 - ①地域活性化・防災の効果
 - ②地域住民の理解

第6 事業費と整備スケジュール

- 1 概算事業費等
- (1) 概算事業費
・85億円～95億円（試算）
 - (2) 維持管理・運営費
・年間支出額170百万円（試算）
・年間収入額は、今後、料金設定による。
- 2 事業スケジュール
令和5年度夏頃の開館を目指す。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
基本計画策定	→				
設計	設計者選定	3か月			
	基本設計	6か月			
	実施設計		6か月		
建設	施工者選定		3か月		
	建設工事			18か月	
開館準備					↔
開館					→